

## 「安全・安心な社会を実現するための機器設計」

主催:精密工学会

企画:事業部会企画第 1 グループ

協賛(予定):大田区産業振興協会/SME 東京支部/TAMA 産業活性化協会/TAMA-TLO/応用物理学会/品川区産業振興課/機械技術協会/機械振興協会/軽金属学会/計測自動制御学会/自動車技術会/情報処理学会/電気加工学会/電気通信協会/電子情報通信学会/東京都金属プレス工業会/日本オプトメカトロニクス協会/日本金型工業会/日本機械学会/日本工学会/日本工作機械工業会/日本自動車工業会/日本設計工学会/日本塑性加工学会/日本ソフトウェア科学会/日本ダイカスト協会/日本鋳造工学会/日本溶接協会/日本ロボット学会/発明協会東京支部/東京湾岸地域大学間コンソーシアムによる社会人キャリア・アップ運営協議会(TOBAC)/コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)

最近、航空機、鉄道、自動車、家電製品等の各方面での事故が発生しており、安全・安心に対する社会的関心が急速に高まってきています。一方、技術がより高度化・複雑化する中で、科学技術力やその運用に関与する技術者のレベルを維持することの難しさや、機器のユーザビリティやヒューマンインターフェイス設計の重要性も指摘されています。このような現状を踏まえ、人々がより安心して暮らすことのできる社会を実現するため、将来を担う若い技術者の方々を主な対象として、もう一度機械工学の原点に立ち返り、安全・安心に対する基本的

な考え方を整理し、今後の機器設計やヒューマンインターフェイス設計に携る技術者の果たすべき役割について述べる。

そこで本講習会では、第一線でご活躍の講師の先生をお招きして、人々がより安心して暮らすことのできる社会を実現するための技術動向や機器設計法について解説して頂きます。企業や研究所等で製品の安全性設計、信頼性保証、ヒューマンインターフェイス設計に関する技術開発や製品開発に携っている方々の多数のご参加をお待ちしております。

日 時 平成 20 年 1 月 16 日(水)、10 時 00 分～16 時 30 分

会 場 埼玉大学東京ステーションカレッジ(〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 JRサピアタワー9階)

\*東京駅下車徒歩約1分

\*サピアタワーは厳重なセキュリティーチェックがあります。サピアタワー3階オフィス受付にて「当日入館カード」を受け取り、入館してください。

会場 URL: <http://www.saitama-u.ac.jp/coalition/tsc-guide.html>

司 会 綿貫啓一(埼玉大学)、宮崎将哉(株)ニコン

次 第

時 間	題 目	内 容	講 師
	主催者挨拶		
10:00～11:20	ものづくりにおける最良の調和を実現するための最適システム設計	ものづくりにおいては、性能、品質、コスト面での最良化はもちろんのこと、安全性、ロバスト性、製品ライフサイクル、快適性など多くの要因のシステムの考慮が必要である。その意思決定をできるだけ論理的な根拠のもとで実施する技術、すなわち最良の調和を実現するための最適システム設計技術について、やさしく議論する。	京都大学大学院 工学研究科 教授 吉村允孝
11:20～12:20	航空機の安全とヒューマンファクタ	航空機の安全設計及び運航安全について、主にコックピット技術の観点から概説する。また航空安全をさらに一層向上させるために、宇宙航空研究開発機構にて実施している最新のヒューマンファクタ研究について紹介する。	宇宙航空研究開発機構 運航・安全技術チーム 村岡浩治
12:20～13:20	昼 食		
13:20～14:20	自動車の製品安全性と信頼性保証について	自動車の中でも商業車は一日の稼働も長時間にわたり、また長寿命化している中で、信頼性あるいは安全設計が基本的な要件となる。また、車両の制御が電子化、高度化、複雑化していく中でいかにヒューマンインターフェイス設計をすることが重要な要件である。本講演ではその現状と今後の課題・方向性について紹介する。	いすゞ自動車(株) 上席執行役員 品質保証部門統括 山田 勉
14:20～14:30	休 憩		
14:30～15:30	家電製品の製品安全と信頼性設計	2005年の石油温風暖房機による一酸化炭素中毒事故、2006年の瞬間湯沸かし器による一酸化炭素中毒事故等々家電製品に起因する品質事故が続発し、製造業の品質システムの再構築が緊急の課題となっている。本講演では家電製品における製品安全性と信頼性保証を中心とした製品設計の取り組み、品質事故の事例紹介とその対応経過、消安法の改定と今後の製品開発での製品設計の改善施策について紹介する。	東芝キャリア(株) 技術顧問 三谷明男
15:30～16:30	精密装置用生産設備の機器安全設計	機械類の安全性に関する国際規格等が制定され、日本においても労働安全衛生法の改正により、機械の使用環境での一層の安全確保が求められている。生産設備の安全技術動向と使用者の安心を実現するための機器安全設計への取り組みについて紹介する。	(株)ニコン 品質・環境管理部 商品技術試験所 佐藤 博

定 員:60 名(先着順で定員になり次第締切ります)

参加費:会員(賛助会員および協賛団体会員を含む)20,000 円、非会員 30,000 円(テキスト代含む)、学生会員 無料(ただし、資料ご入用の場合は、4,000 円をご負担ください)、学生非会員 6,000 円(テキスト代含む)

資 料:資料のみ、または聴講者で 2 冊以上ご希望の場合、1 冊 4,000 円

申込締切:平成 20 年 1 月 9 日(水)

申込方法:会告 xxxx ページ掲載の講習会・シンポジウム等申込照。

申込先:精密工学会

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-5-9、九段誠和ビル  
2F、電話 03-5226-5191、Fax03-5226-519  
<http://www.jspe.or.jp> から申し込みできます。